

【山崎主宰の俳句】

春のいろいろ

山崎 聰

多喜二忌とたしか同じ日青鮫忌  
これまでもこれからさきも春のいろいろ  
東京の花の下にて鬼ごっこ  
何色と訊かれて春のいろという  
何饅頭の薄皮のよう木の芽雨  
人去って花残るある雨の午後  
しばらくは春の名残りのひとつ星  
花おわるあとは自由な風吹いて  
たましいを光らせあるく穀雨の夜  
われいまここにしかと在り蕨餅